

北興化学工業株式会社

2020年11月期決算説明資料

2021年1月14日

東証第一部 証券コード4992

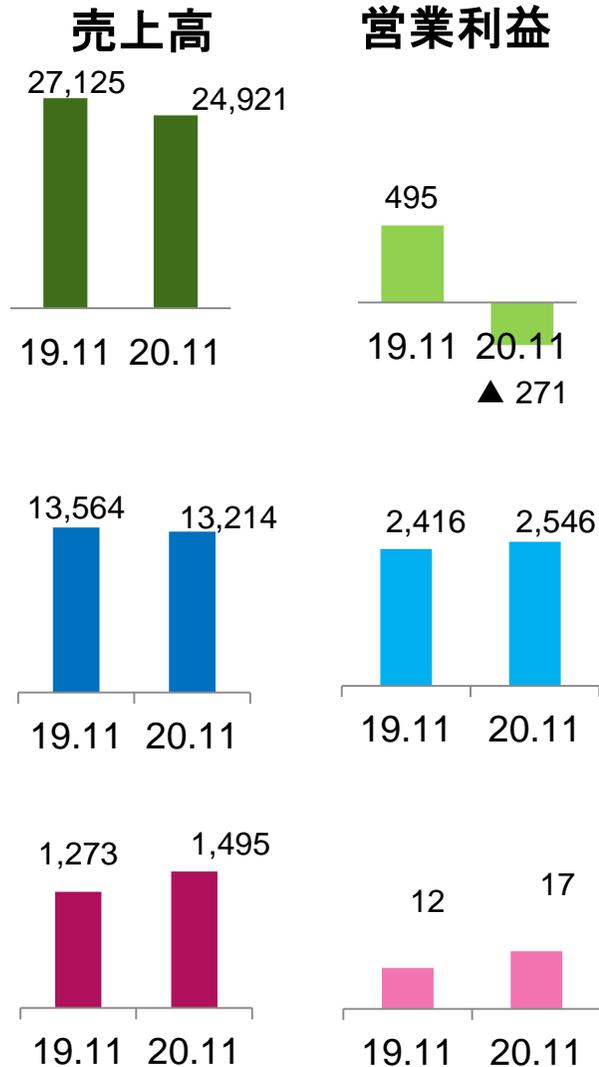


北興化学工業株式会社

決算説明資料目次

I	2020年11月期決算のハイライト	2
II	2020年11月期決算	4
III	2021年11月期の見通し	16

I 2020年11月期決算のハイライト



<農薬事業グループ>

前期比売上高: Δ 2,205百万円 営業利益: Δ 766百万円

- ・国内販売において、水稻除草剤が減少
- ・受託において、海外からの原材料の入荷遅れに伴う影響
- ・営業利益は、売上減少の影響などに加え、返品調整引当金に関わる会計上の見積もりの変更により減益

<ファインケミカル事業グループ>

前期比売上高: Δ 350百万円 営業利益: +130百万円

- ・国内販売においては、医農薬分野の受託製品が減少
- ・輸出販売については、韓国向けの自社製品のレジスト原料が増加
- ・営業利益は、新工場の償却費負担(390百万円)があったものの、高利益品目の売上構成比の上昇や海外子会社の製造コストの低減により、増益

<繊維資材事業>

前期比売上高: +222百万円 営業利益: +5百万円

- ・2020年度より、年初からの実績を計上(2019年度は8ヵ月分)

I 2020年11月期決算のハイライト

連結B/Sについて

- ①総資産(前期比+4,803百万円)
 - ・新型コロナウイルス感染症対策として流動預金を確保
 - ・固定資産における投資有価証券の評価額増(+3,083百万円)により増加
- ②負債の部(前期比+796百万円)
 - ・長期運転資金として長期借入金を調達(+1,200百万円)
- ③純資産の部(+4,007百万円)
 - ・利益の積み上げと投資有価証券の評価額増により増加
 - ・以上により、自己資本比率は63%

新型コロナウイルス感染症の影響について

- ①農薬事業グループ
農薬の需要については大きな影響はなかった
- ②ファインケミカル事業グループ
自動車や化粧品分野において売上は減少するも、PC等の需要増に伴う電子材料分野の売上拡大により、全体として大きな影響はなかった



Ⅱ 2020年11月期決算

□ 連結業績

(百万円)

	2017/11	2018/11	2019/11	2020/11	前期比	増減率
売上高	39,826 (100%)	41,015 (100%)	41,986 (100%)	39,641 (100%)	△2,346	△5.6%
営業利益	2,286 (5.7%)	3,141 (7.7%)	2,902 (6.9%)	2,287 (5.8%)	△615	△21.2%
経常利益	3,541 (8.9%)	4,081 (10.0%)	3,751 (8.9%)	3,258 (8.2%)	△493	△13.1%
当期純利益	1,989 (5.0%)	2,944 (7.2%)	2,818 (6.7%)	2,400 (6.1%)	△419	△14.9%

◆為替レート(1米ドル=)・・・ 2019年:109.24円、2020年:106.94円

- 売上高は、主に農薬事業における販売が減少したことから、全体としては減収
- 営業利益は、農薬事業における売上減少の影響などに加え、将来のリスク発生に備えるべく、返品調整引当金に関わる会計上の見積もりを変更した結果、同引当金の繰入額が増加したことにより減益
- 経常利益は、為替差損の減少はあったものの、営業利益の減少により減益
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の要因に加え、海外の化学品メーカーに対する損害賠償請求解決金として、250百万円を特別損失に計上したことにより減益



□ 株主還元

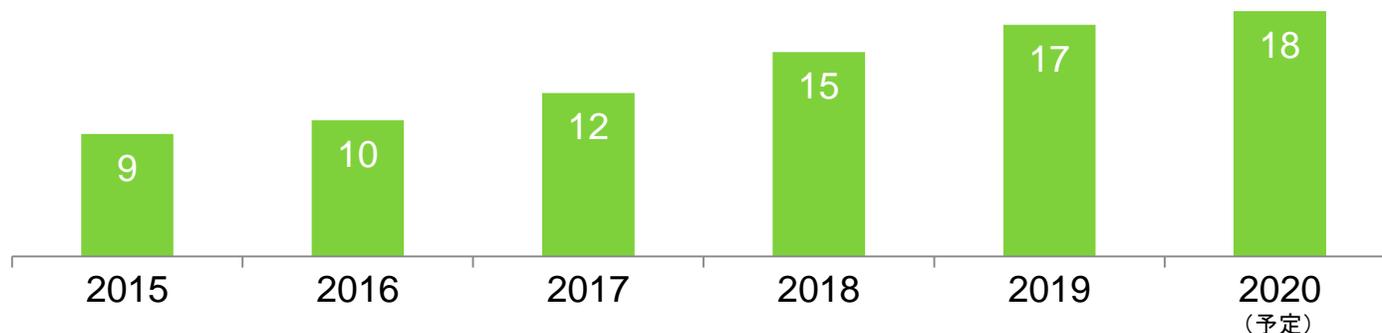
➤ (基本的な考え方)

安定的な利益配分の継続を基本方針とし、内部留保の蓄積や成長投資とのバランスを図りつつ、利益動向に応じた株主還元を実施する

《配当方針》

- 利益水準によらず過去から行ってきた安定配当を継続して実施する
- 収益状況に応じた増配を目指す。

1株あたり配当金の推移(円) 70周年記念配当2円含む

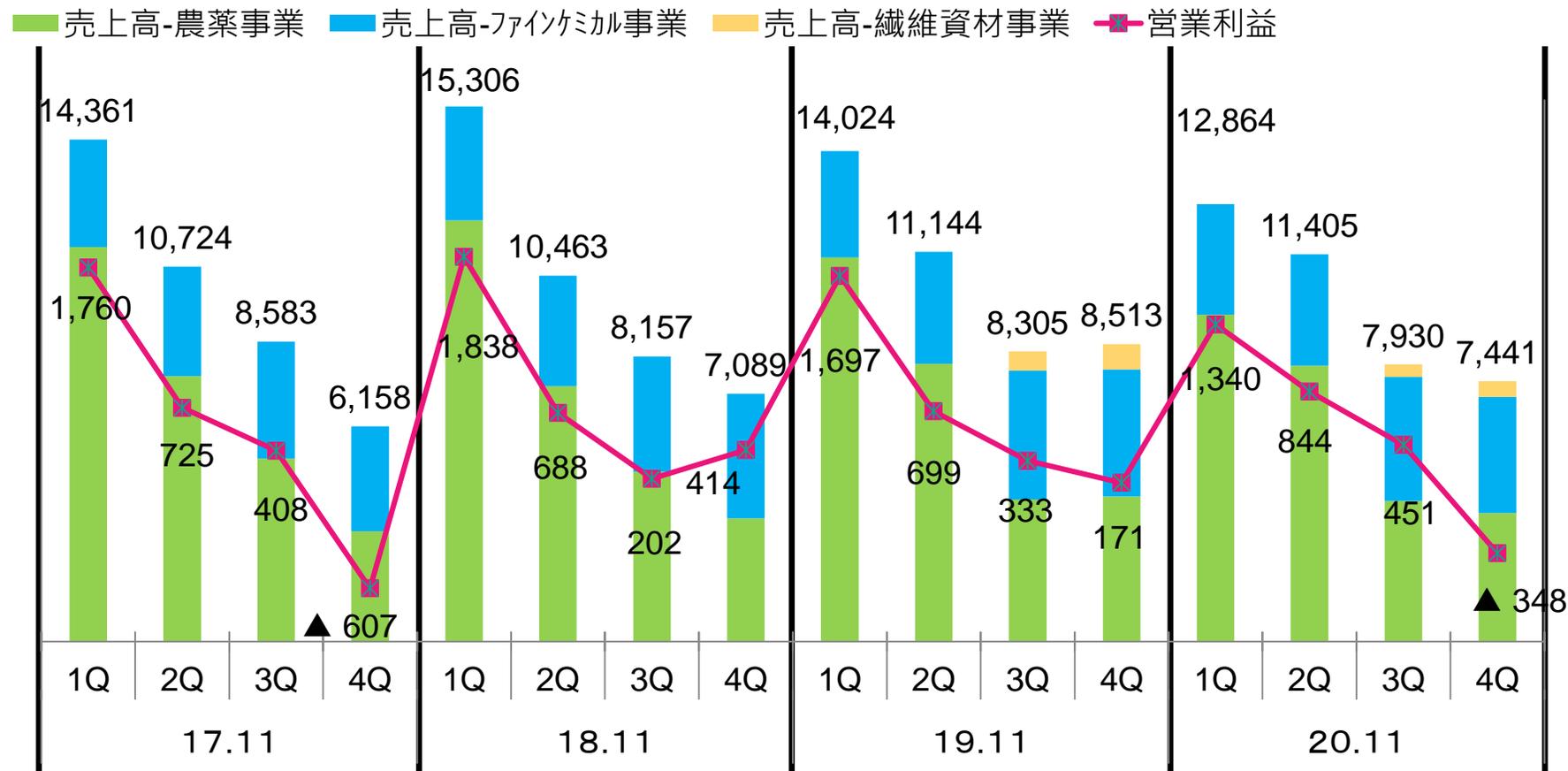


	2015	2016	2017	2018	2019	2020 (予定)
配当性向	13.1%	14.0%	16.5%	13.8%	16.3%	20.3%
自己株式取得	—	—	3億円	—	—	—
総還元性向	13.1%	14.0%	31.5%	13.8%	16.3%	20.3%



□ 連結業績（四半期毎の推移）

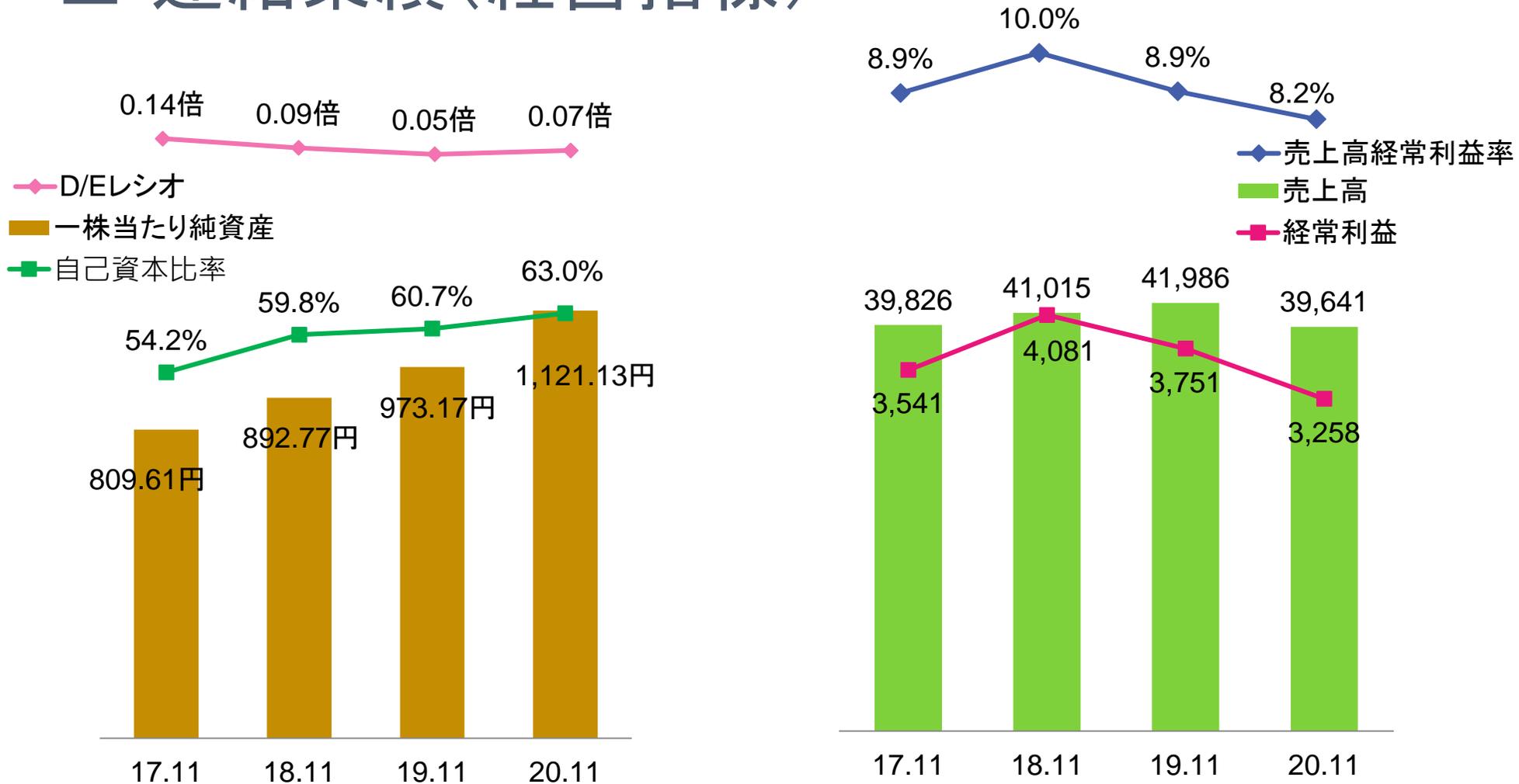
（百万円）



- 農薬の需要は季節性があることから、当社の売上・利益はそれに合わせて第1四半期がピークとなり、第2四半期以降は減少する特徴がある

□ 連結業績（経営指標）

(百万円)

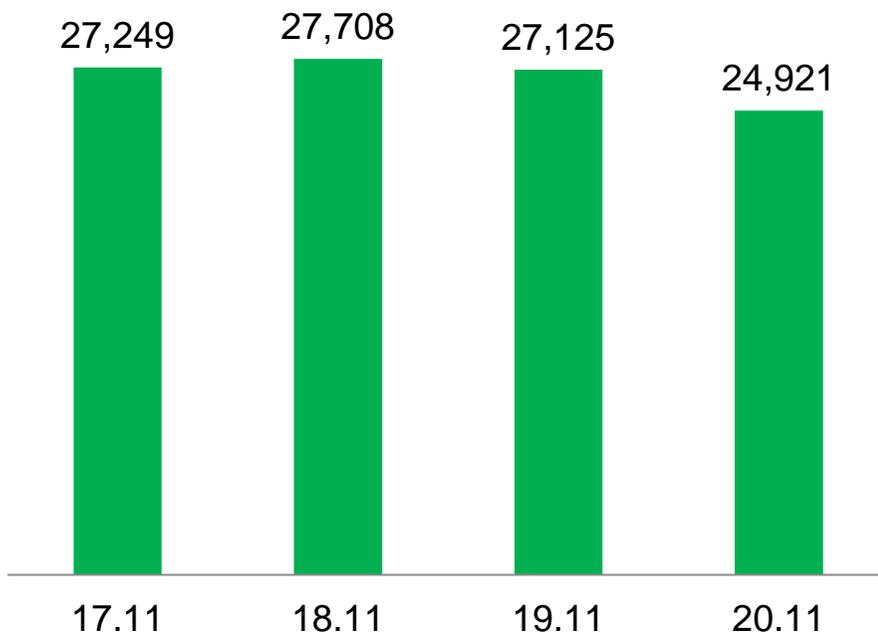


- 2020年度利益の積上げにより一株当たり純資産・自己資本比率が上昇、D/Eレシオは、ほぼ横ばい
- 農薬事業の減収および返品調整引当金の増加により、経常利益が減少し、売上高経常利益率は8.2%に低下

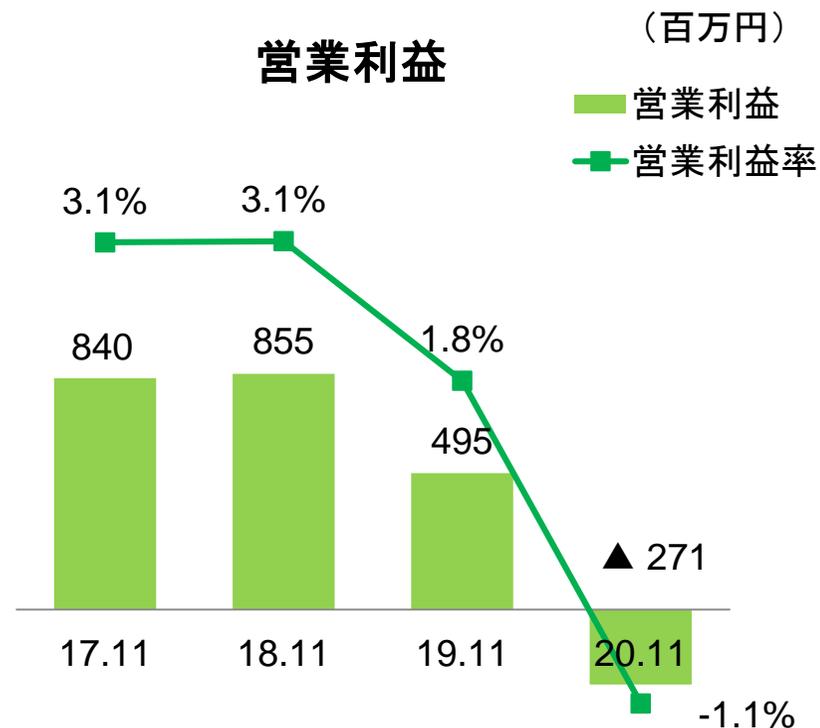
□ セグメント別業績

農薬事業

売上高



営業利益



2020年度／売上高…前期比8.1%減、営業利益…同766百万円減益

- 2020年11月期の売上高は、国内販売において、主に海外からの原材料の入荷遅れに伴う生産・出荷の遅れの影響などにより減収
- 営業利益は、減収に加えて、返品調整引当金の繰入額が増加したこと等により減益



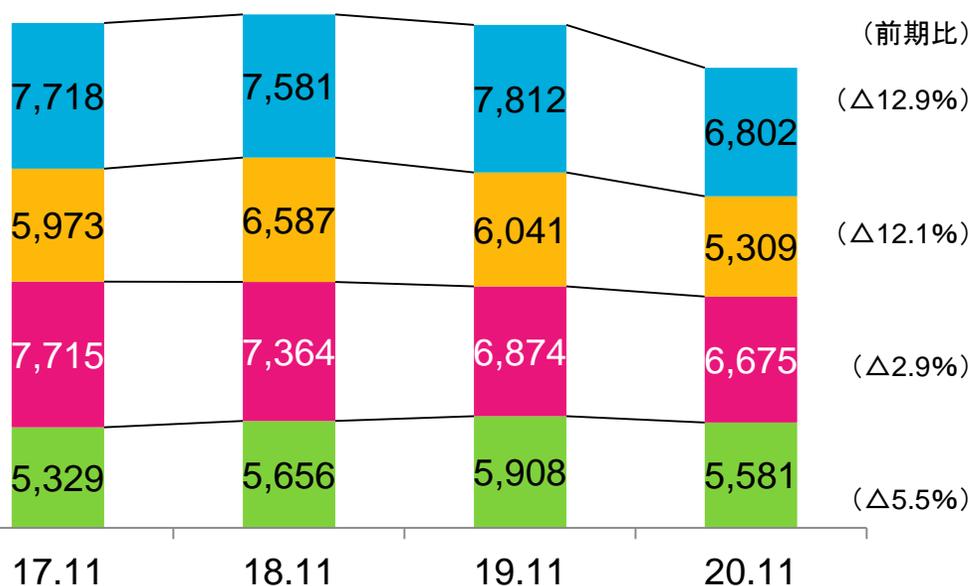
□ セグメント別業績

農薬事業(種類別・輸出売上高)

(百万円)

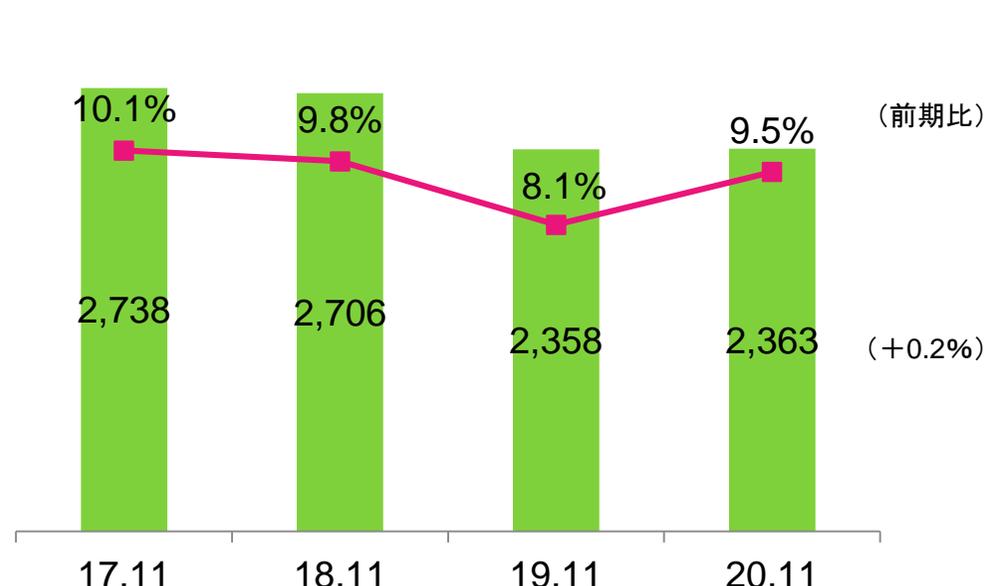
種類別(個別)

■ 殺虫剤 ■ 殺菌剤 ■ 殺虫殺菌剤 ■ 除草剤



輸出(個別)

■ 輸出 ■ 輸出割合

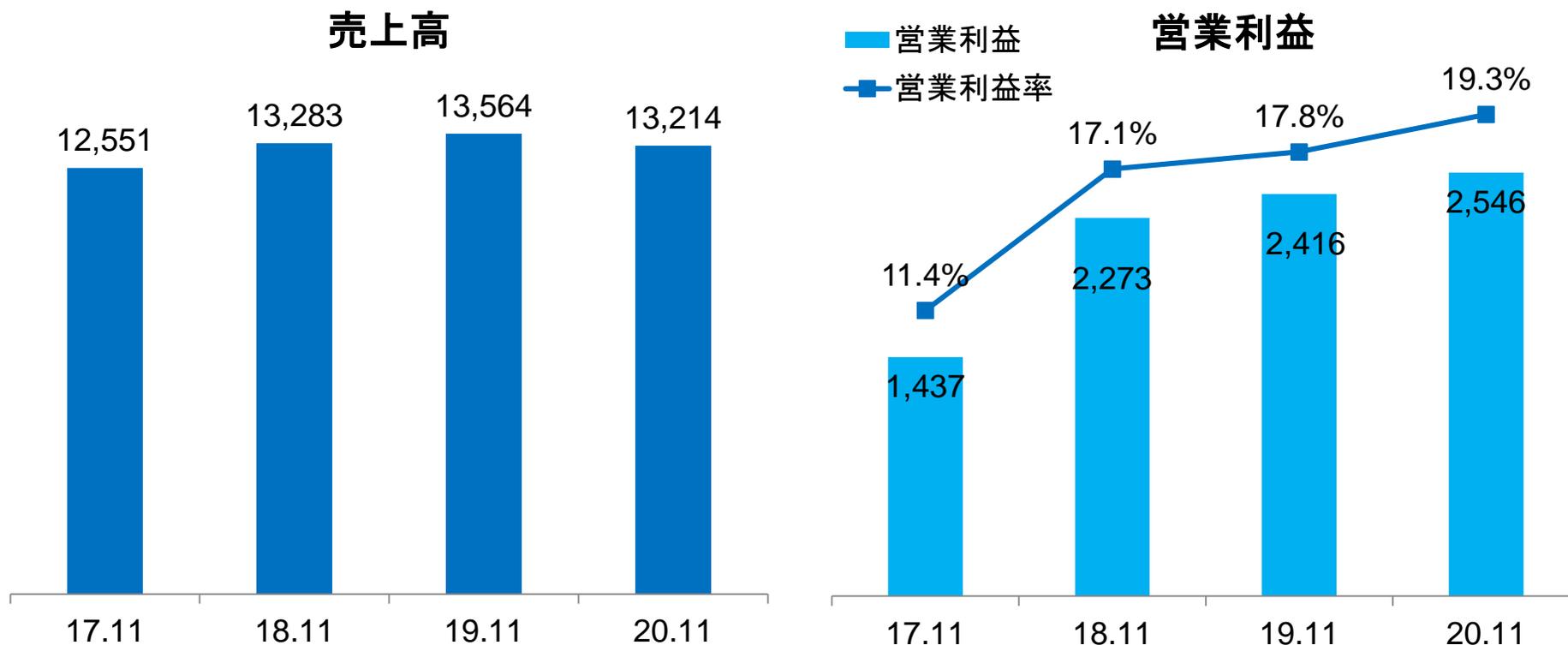


- 水稲用除草剤や殺虫殺菌剤の大幅な減少により、全体も減少
- 輸出売上高は前年度並みとなったが、国内販売の減少により、農薬事業における輸出割合が増加

□ セグメント別業績

ファインケミカル事業

(百万円)

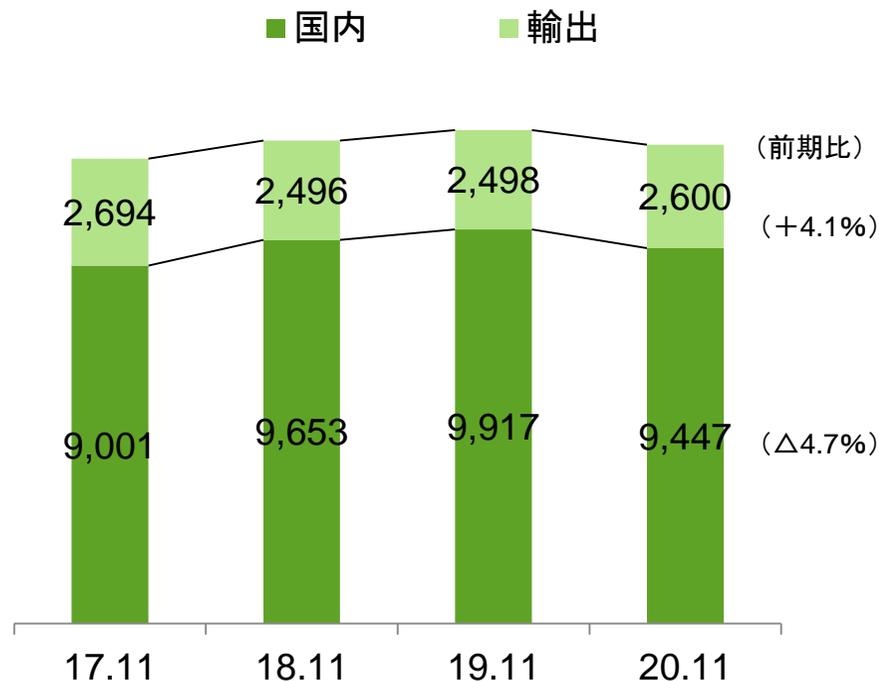


2020年度／売上高…前期比2.6%減、営業利益…同5.4%増

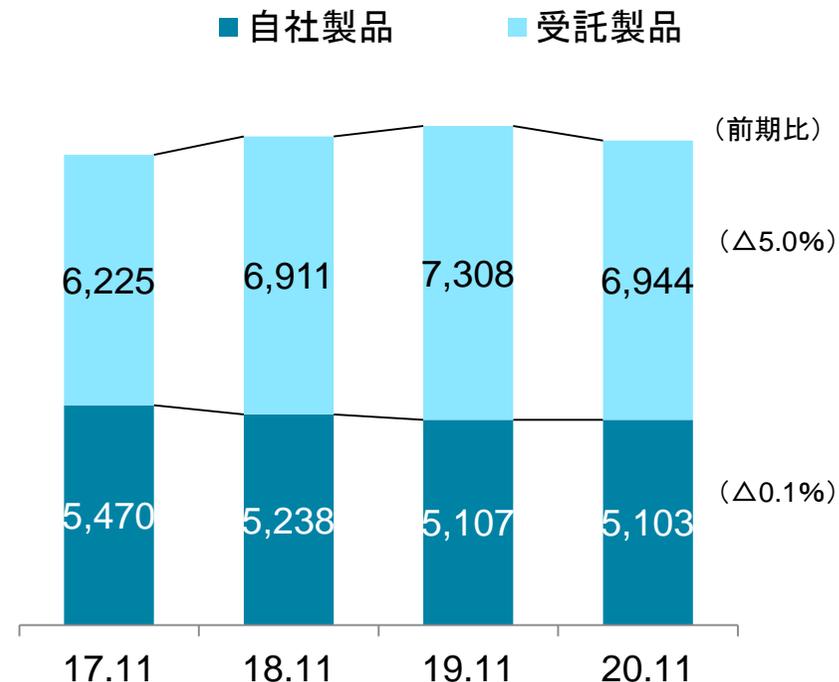
- 2020年11月期の売上高は、電子材料分野での販売が好調に推移したものの、医農薬分野の販売が減少したことにより、減収
- 営業利益は、高利益品目の売上構成比の上昇や海外子会社の製造コストの低減により、増益

□ セグメント別業績 ファインケミカル事業(国内輸出別・自社受託製品別売上高)

国内・輸出別(個別)



自社・受託製品別(個別) (百万円)



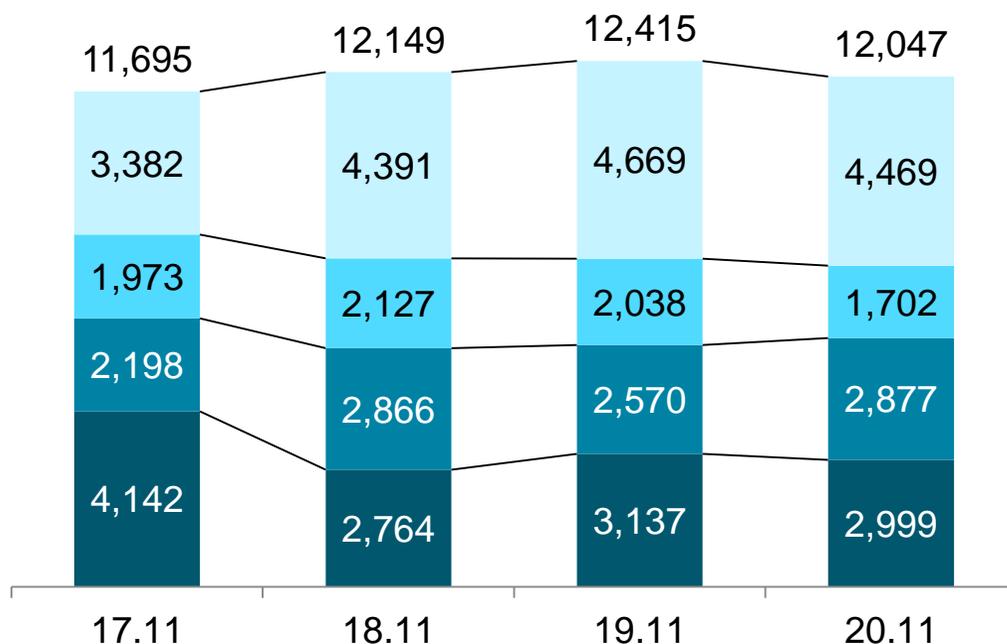
- 2020年度は、輸出は電子材料分野において増加となったが、国内は医農薬分野が減少したことにより、全体で減収となった
- 自社・受託製品別では、医農薬分野の減少に伴い、受託製品が減少した

□ セグメント別業績 ファインケミカル事業(分野別売上高)

分野別(個別)

(百万円)

■ 樹脂 ■ 医農薬 ■ 電子材料 ■ その他



2020/11分野別 前期比増減(個別)

分野	前期比
樹脂	↓ △4.3%
医農薬	↓ △16.5%
電子材料	↑ +11.9%
その他	↓ △4.4%
合計	↓ △3.0%

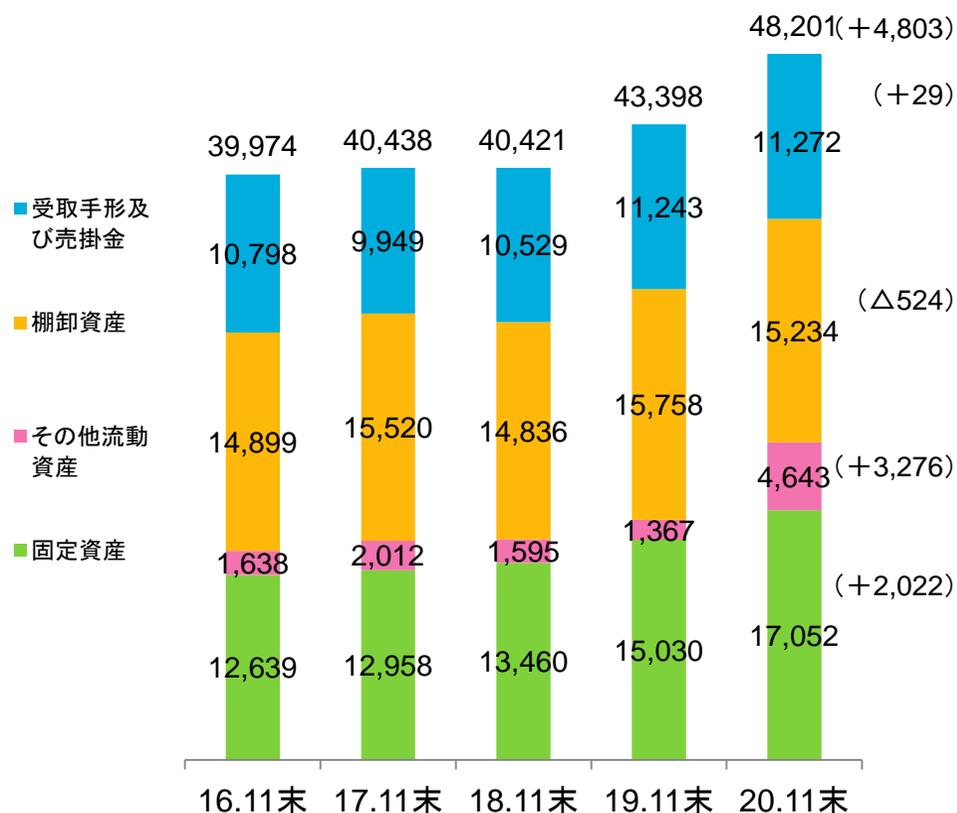
- 2020年度はフォトレジストを中心に電子材料分野は増加したものの、医農薬分野の減少により、全体では減収となった

□ 連結B/Sの推移

(百万円)

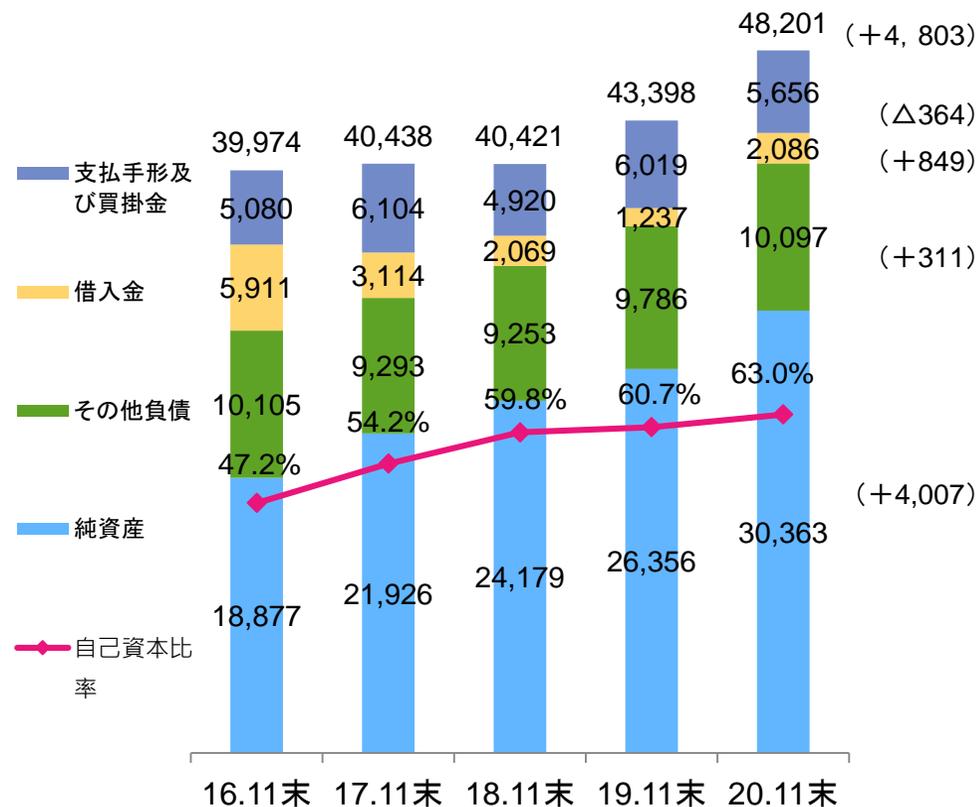
資産の部

(前期比)



負債・純資産の部

(前期比)



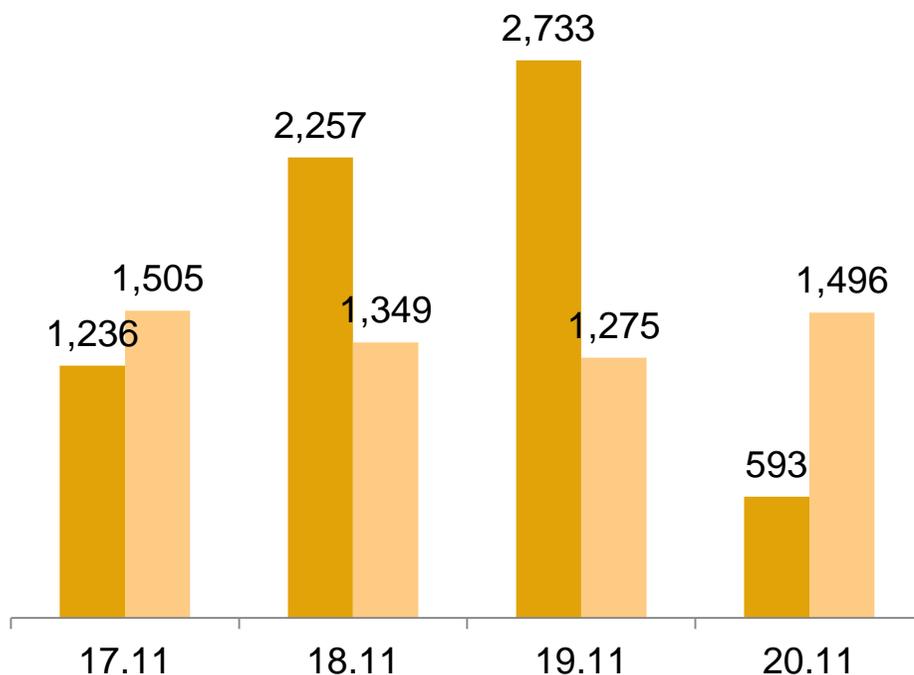
- 利益の積み上げにより、自己資本比率は63.0%に上昇
- 自己資本比率は2011年11月期より11期連続上昇

□ 設備投資・研究開発費の実績

(百万円)

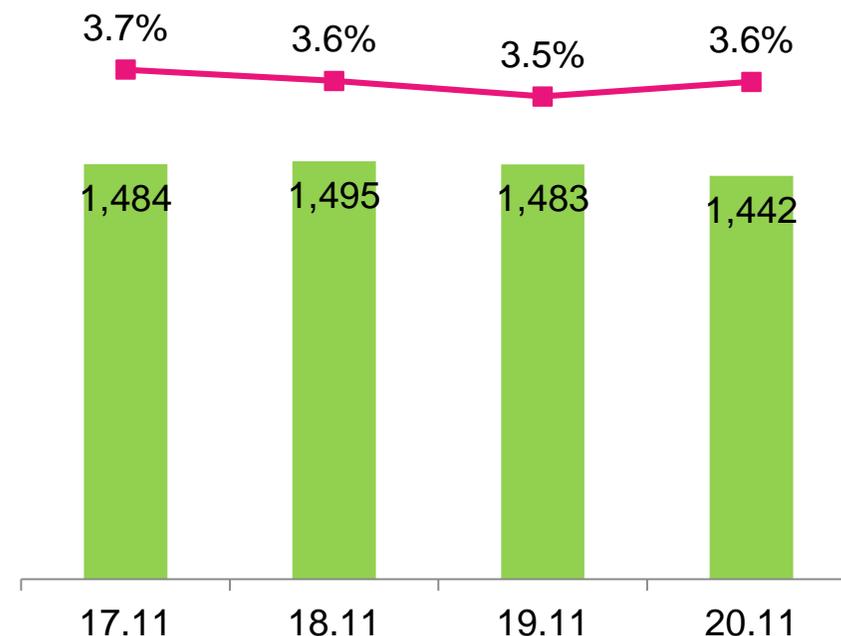
設備投資・減価償却費

■ 設備投資
■ 減価償却費



研究開発費

■ 金額
■ 対売上比率



- 2018年11月期については、岡山工場合成第9工場(464百万円)、新潟工場管理棟(289百万円)を含む
- 2019年11月期については、岡山工場合成第9工場(1,856百万円)、排水対策設備(148百万円)を含む

Ⅲ 2021年11月期の見通し

□ 連結業績予想

(百万円)

	2020/11実績	2021/11予想	増減	増減率
売上高	39,641 (100%)	41,000 (100%)	+1,359	+3.4%
営業利益	2,287 (5.8%)	2,650 (6.5%)	+363	+15.9%
経常利益	3,258 (8.2%)	3,350 (8.2%)	+92	+2.8%
当期純利益	2,400 (6.1%)	2,500 (6.1%)	+100	+4.2%

◆為替レート(1米ドル=)・・・ 2020年:106.94円、2021年:105.00円

- 売上高は、主に農薬事業での国内販売の回復やファインケミカル事業における医農薬分野の回復により、増収の見込み
- 営業利益は、増収に加え、委託研究費等の増加はあるものの、返品調整引当金の繰入額の増加がなくなることから、増益の見込み



□ セグメント別業績予想

		2020/11 実績	2021/11 予想	増減	増減率	見込み (百万円)
農薬事業	売上高	24,921	25,700	+779	+3.1%	国内販売において、海外からの原材料の入荷遅れに伴う生産・出荷の遅れの解消により、増収の見込み
	営業利益 (利益率)	△271 (△10.9%)	50 (0.2%)	+321	－%	委託研究費等の増加はあるものの、返品調整引当金の繰入額の増加がなくなることから、増益の見込み
ファインケミカル事業	売上高	13,214	13,650	+436	+3.3%	医農薬分野の販売回復により増収となる見込み
	営業利益 (利益率)	2,546 (19.3%)	2,600 (19.0%)	+54	+2.1%	主に増収により、増益となる見込み
繊維資材事業	売上高	1,495	1,650	+155	+10.4%	復調基調にある自動車業界などの産業資材用途の回復により、増収となる見込み
	営業利益 (利益率)	17 (1.1%)	40 (2.4%)	+23	+135.3%	主に増収により、増益となる見込み



本資料に記載されている業績予想に関しましては、現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

北興化学工業株式会社

企画部 IR担当

電話：03-3279-5151

FAX：03-3279-5195